

主な出来事

【内政】

●国会通常会期の開催

【外政】

●第５回ＣＯＰＡＸ閣僚会合の開催

●ボンゴ大統領によるコンゴ（共）外相との会談

●中ア大統領によるガボン訪問

●ボンゴ大統領によるサントメ・プリンシペ訪問

●ボンゴ大統領によるインド訪問

●ユネスコ事務局長によるガボン訪問

【経済】

●ボンゴ大統領によるＢＥＡＣ総裁との会談

●ボンゴ大統領による印企業関係者との会談

●ＥＵによるＣＥＭＡＣ支援：３，３００万ユーロ

●ボンゴ大統領によるアフリカ大陸自由貿易圏への署名

【内政】

１ 国会通常会期の開催

１日、国民議会及び上院議会の通常会期開会式が開催され、前会期での審議結果や議員削減等の改革について触れながら、透明性のある総選挙実施が呼びかけられた。（２日付ＵＮ）

２ Les Souverainistes-Ecologistes による総選挙不参加表明

３日、ＣＮＲ（新共和国のための連盟）に加盟する Les Souverainistes-Ecologistes は、次期総選挙への参加は現政権の正当化に繋がるとして、ボイコットを表明した。（７日付ＵＮ）

３ ＰＤＧ創設５０周年

９日、与党ＰＤＧ（ガボン民主党）５０周年創設記念式典を前に、同党員は設立５０周年を祝賀した。（１０日付ＵＮ）

４ Les Democrates 創設１周年

１０日、les Democrates １周年創設記念式典が開催され、ンズバ・ンダバ代表は政権獲得、次期総選挙について演説した。（１２日付ＵＮ）

５ ＵＰＧによる議席配分に係る異議申立て

２１日、ムカニ・イワングＵＰＧ（ガボン国民連合）代表は、今般新たに修正された議席配分について、州ごとの人口比が反映されていないとして、違憲である旨憲法裁判所に提訴した。（２３日付ＵＮ，２２日付ＧＲ）

6 D N副代表らによる党代表の除籍

2月の臨時党大会後、D N（新民主主義）副代表らは、党規則の違反を理由にンデメゾ・オビアン党代表の除籍を発表した。（28日付UN）

7 ガボン選挙機関構成員に係る野党内対立

26日、D Nは、P S D（社会民主党）及びP D S（発展・連帯党）と連携して、新たな選管として準備が進められているガボン選挙機関（C G E）に関して、政治対話に欠席した野党強硬派のメンバーが同機関構成員に編成されることは認められないとして、近日中に内務省に対して同党らの考える構成員名簿を提出する旨発表した。（29日付UN）

【外政】

1 ボンゴ大統領によるチャド湖に係る国際会議出席

2月28日、ボンゴ大統領は気候変動に関するアフリカ首脳委員会（C A H O S C C）議長としてチャド湖に係る国際会議に出席し、持続的開発に向けた生態系の復元等について協議した。（1日付UN）

2 第5回C O P A X閣僚会合の開催

2月28日から3月1日にかけて第19回防衛安全委員会（C D S）が、また、3日から4日、メソネ・ガボン外相招集のもと第5回中部アフリカ平和安全保障委員会（C O P A X）定期閣僚会合が開催され、C O P A X改革、テロ等の地域治安情勢について協議が行われた。（1日付UN）

3 ボンゴ大統領によるコンゴ（共）外相との会談

5日、ボンゴ大統領は第5回C O P A X閣僚会合の報告者であったガコソ・コンゴ（共）外相と会談し、同会合結果について意見交換を行った。（7日付UN）

4 中ア大統領によるガボン訪問

5日、トゥアデラ中ア大統領はガボンを訪問し、ボンゴ大統領との間で二国間関係、中アの政治・治安情勢について協議した。（6日付UN）

5 ボンゴ大統領によるサントメ・プリンシペ訪問

6日、ボンゴ大統領はサントメ・プリンシペを訪問し、カルバリョ大統領、トロヴォアダ首相と地域の平和・安全保障について協議したほか、リーブルビルにて開催された第5回C O P A X閣僚会合の結果について意見交換を行った。（7日付UN）

6 ボンゴ大統領によるインド訪問

10日、印及び仏大統領の招待を受けて、ボンゴ大統領はニューデリーにて開催された国際太陽光同盟（I S A）の第1回首脳会議に参加し、I S Aの発展、プロジェクト実施に向けた支援戦略について協議した。（12日付UN）

7 経済・社会・環境評議会閉会式の開催

15日、経済・社会・環境評議会（C E S E）の閉会式が開催され、環境、治安、持続的な開発との関係性、経済・社会的安定に対する若者の雇用の影響に係る評議会の見解を発表した。（16日付UN）

8 ユネスコ事務局長によるガボン訪問

28日から29日、アズレ・ユネスコ事務局長はガボンを訪問し、大統領府にて開催された学生へ教育機会支援プログラムの式典に出席したほか、教育大臣、社会保障大臣、外相、商業大臣等と会談した。(30日付UN)

【経済】

1 ペトロナスによる新油田発見

5日、マレーシア石油国営企業のペトロナスは、ガボン沖F14鉱区のBoudji-1サイトに新油田を発見した旨発表した。同社は、ガボン側とともに商業化可能な埋蔵量の有無について評価を行う予定。(5日付GR, 7日付UN)

2 ガボン政府と仏企業代表らとの面談

7日、経済大臣及び投資促進大臣は、ガボンに参入している仏企業代表らと面談し、経済再建化計画に係る戦略、債務返済、ビジネス環境の改善、政府による電力・水道会社Veolia接收等について協議した。(8日付UN)

3 ボンゴ大統領によるBEAC総裁との会談

9日、中部アフリカ諸国銀行(BEAC)総裁はボンゴ大統領と会談し、中部アフリカ地域の経済・通貨状況のほか、各加盟国にて実施されている財政改革について報告した。同総裁によれば、本年のガボンの経済成長率は2.7から3%となる見込み。(9日付大統領府HP)

4 郊外発電計画B.Boxxの開始

10日から11日にニューデリーにて開催されたISA首脳会合の機会に、水・エネルギー大臣は、ガボン郊外の発電化に向けて、B.boxxキット配布計画を開始する旨発表した。マリブ、モンタリエ、バンブーシンの3地域を含む村落及び郊外に太陽光パネルのB.boxxキットが2,000台設置され、10億CFAフランが試験期間に用いられる。(10日付UN)

5 ボンゴ大統領による印企業関係者との会談

10日、ASI首脳会合のマージンにてボンゴ大統領は印企業関係者と会談し、観光、新技術、木材、鉱業等の分野での投資について協議した。(14日付UN)

6 副大統領による印Bakhshi International社一行との面談

14日、マガンガ・ムサブ副大統領は、印Bakhshi International社一行と面談し、ガボンの食料自給力の向上に向けた農業分野での投資について協議した。(14日付GR)

7 EUによるCEMAC支援：3,300万ユーロ

オンド中部アフリカ経済通貨共同体(CEMAC)委員長によるEU本部訪問後、EUは、同共同体に対する3,300万ユーロの支援を発表した。同支援はビジネス環境の改善、機構改革の促進、中小企業の発展を目的としている。(19日付GR)

8 アフリカ開発銀行による経済成長予測

13日、アフリカ開発銀行(BAD)は2018年から2019年にかけての中部アフリカ

経済成長予測に係る報告書を発表し、2018年及び2019年の経済成長はそれぞれ2.4%、3.4%となる旨発表した。(20日付UN)

9 ボンゴ大統領によるアフリカ大陸自由貿易圏への署名

21日、キガリにて開かれたAU臨時総会にて、ボンゴ大統領はアフリカ大陸自由貿易圏に署名した。同貿易圏の創設により、雇用創出、経済成長、大陸間での調和の取れた開発が期待されるほか、大陸間の地域統合も促進される。ガボンを含む合計44か国が同自由貿易圏に係る合意に署名し、同合意は6か月後に発効する。(22日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリール電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコー・ノール紙)